

テーマ《パパとあ・そ・ぼ》

《ねらい》

「子どもと遊ぶ」と言われても、親になるまでに子どもと接する機会を持っていない場合は、何をしたいのかも分かりません。そこで、生活の中での遊びを具体的にやってみることで、「あ、こんなことでいいんだ」と気軽に子どもとかかわる気持ちを育むことをねらいとします。

また、読み聞かせの大切さが言われていますが、父親自身が絵本を読む機会は少ないものです。そこで、いろいろな絵本を読んだり、他の父親が手に取る絵本を見たりする場を持つことによって、父親自身が絵本のおもしろさを知り、子どもとの絵本タイムを楽しむ気持ちを育むことをねらいとします。

この回は、「子どもと一緒に体を動かせるスペース」と「図書館のように絵本がたくさん・自由に読める場所」が必要です。「遊び編」「絵本編」と2回に分けて実施してもいいですね。



《話題提供者》

乳幼児との遊びに関わっている方（遊び研究家、保育士など）

《話題提供者に話していただく内容》

- ・出勤前や、入浴前などにできる親子スキンシップをやってみよう。
「ぎゅっとつかまって、子どもが自分の体を支えることができる。この動きは、子どものこういう発達を促すんですよ」
実際に親子遊びをしながら、この遊びが子どもの発達の「ここを促進する」という視点から話していただく。
- ・お父さんとしての絵本の読み方、本を選ぶポイント

《活動タイム》

- 図書室に移動して、いろいろな絵本を読んでみよう。絵本の醍醐味を味わおう。
- ・自分が「おもしろい」「これは好きだ」「泣ける」と感じる絵本があるでしょうか。
 - ・他のパパが手にしている絵本ものぞいてみよう。思いがけないおもしろさが見つかるかも。
 - ・自分が気に入った1冊をみんなに知らせよう。

ワークシートの例

いろいろな絵本を見てみよう・読んでみよう			
お気に入り度	題名	著者名	出版社名